

令和 2 年度に市内で確認された特定外来生物について

セアカゴケグモ（令和 2 年 6 月 23 日）

前橋市元総社地区の民家において、特定外来生物「セアカゴケグモ」が 1 匹確認されました。前橋市内では初めての確認ですが、県内では、平成 17 年 8 月以降散発的に確認されており、今回で 8 例目です。（高崎市 2 例、伊勢崎市 2 例、みどり市 1 例、玉村町 2 例）

1 経 過

(1) 令和 2 年 6 月 21 日（日）

セアカゴケグモと疑われるクモ 1 匹を家人が発見し、踏みつぶして駆除。

(2) 令和 2 年 6 月 22 日（月）

発見者が電子メールにて、県立ぐんま昆虫の森へ連絡。

(3) 令和 2 年 6 月 23 日（火）

県立ぐんま昆虫の森職員によりセアカゴケグモであることを確認。同日、前橋市環境森林課職員及び群馬県自然環境課職員により、発見場所等の生息調査を実施し、新たな個体の確認はなかった。

2 対応状況

近隣の小中学校や保育所など関係各所に情報提供を行うとともに、市民に対してホームページ等で注意喚起を行いました。

クビアカツヤカミキリ（令和 2 年 7 月 23 日）

前橋市内の果樹園において、特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」を 3 匹確認しました。なお、前橋市内での確認は今回が初めてです。

これまで、クビアカツヤカミキリは、県内東部地域での発生が中心でしたが、今年に入って 6 月から 7 月の初めにかけてみどり市、伊勢崎市及び高崎市の果樹園等でクビアカツヤカミキリの成虫やフラスの排出が確認されており、県内での生息区域が年々拡大しています。

1 経 過

(1) 令和 2 年 7 月 23 日

前橋市内の果樹園でクビアカツヤカミキリを 3 匹発見（桃、プラム）。

(2) 令和 2 年 7 月 27 日

発見者から群馬県中部農業事務所に連絡。現地確認し、クビアカツヤカミキリと確認。フラスは確認できなかった。

(3) 令和 2 年 7 月 28 日

中部農業事務所から前橋市へ電話連絡あり。環境森林課・農政課で現地確認し、クビアカツヤカミキリと確認。

(4) 令和2年7月31日

中部農業事務所と市環境森林課・農政課で農園全体を再調査したが新たな成虫やフラスの確認はできなかった。

2 対応状況

(1) 市内果樹農家

- ・該当農家では、計画的に害虫対策を実施しており、今後も継続的に状況を注視する。
- ・他の果樹農家については、JA前橋市を通じて注意喚起を実施した。
- ・果樹（モモ・プラム・ウメ等）を生産かつ販売する農家に対し、薬剤を配布した。

(2) 一般市民（果樹農家を除く）

- ・ホームページ・フェイスブック・広報等で再度、注意喚起。
- ・被害の連絡があった場合は、環境森林課で現地確認し、駆除方法等を助言する。

(3) 市有施設

- ・市内のサクラの名所（千本桜、大室公園）などで予防策としての薬剤（ウッドスター）の樹幹注入・定期的に巡回し目視確認を実施している。
- ・クビアカツヤカミキリを確認した場合は、ネット設置・薬剤（ウッドスター）の樹幹注入。
- ・クビアカツヤカミキリ対策講習会の実施

群馬県自然環境課の職員を講師に招き、令和2年10月23日（金）にサクラやウメなどの被害対象木を管理する前橋市職員・関係団体・他市の職員を対象とした対策講習会を開催した。クビアカツヤカミキリの生態や防除方法、被害木へのネットの巻き方などの説明を行い、25名が参加した。

